

衆議院財務金融委員会ニュース

【第213回国会】令和6年3月13日（水）、第10回の委員会が開かれました。

1 関税定率法等の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）

- ・鈴木財務大臣兼金融担当大臣、尾崎国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。（質疑者）伊東信久君（維教）、掘井健智君（維教）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

伊東信久君（維教）

- （1） 特例輸入者による特例申告の納期限延長に係る担保の取扱いの緩和
 - ア 緩和の意義、目的及び効果
 - イ 今後のAEO事業者数の推移の予測
 - ウ 大阪税関管内におけるAEO事業者数の推移予想及びAEO制度の利用拡大に係る課題
 - エ 航空貨物及び海上貨物それぞれの輸入許可件数の推移の予測
- （2） 関西国際空港の年間発着回数目標
- （3） 仮装・隠蔽に基づく更正の請求に係る重加算税制度の見直し
 - ア 見直しの意義
 - イ 仮装・隠蔽に基づく更正の請求の件数
 - ウ 同請求の実績の有無及び 見直しによる同請求抑止の効果

掘井健智君（維教）

- （1） 特例輸入者による特例申告の納期限延長に係る担保の取扱いの緩和
 - ア 貨物のセキュリティ確保と貿易の円滑化の両立に対する大臣の所見
 - イ 特例輸入者数の増加見込み及びAEO事業者へのアンケート結果を踏まえた今後の同事業者の増加に向けた方策
- （2） 飼料用トウモロコシの安定的な確保に向けた政府の見解
- （3） パンデミック発生時等の安定供給の確保のために使い捨て手袋の国内生産を行うべきとの意見に対する政府の見解

田村貴昭君（共産）

- （1） 荷主と物流事業者との取引における関税及び消費税の立替え問題
 - ア 荷主が関税及び消費税を物流事業者に立て替えさせた具体的な事例
 - イ 関税及び消費税を立て替えさせることは優越的地位の濫用につながるおそれがあり、独占禁止法上問題となる可能性があることの確認
 - ウ 東京通関業会によるアンケートでは立替払いを行った理由として「荷主からの要請」が最も多かったこと等を大臣が知っているか否かの確認及びこの事実に対する大臣の見解
 - エ 参議院議員尾立源幸君提出の質問主意書に対する答弁書（平成17年5月20日送付）で1兆円近くの立替払いを税法上問題ないとしていることについての現在の政府の認識
- （2） 特例輸入者による特例申告の納期限延長に係る担保の取扱いの緩和
 - ア 担保の提供を求める理由
 - イ 過去において担保が必要とされた件数
 - ウ 輸入手続に関するコスト低減効果の規模
 - エ 登録している特例輸入者のうち90%を大企業が占めていることから大企業のコスト削減のための

見直しとなるのではないかとの意見に対する大臣の見解

オ AEO事業者である大企業は担保資金を負担できるだけの財務状態にあるにもかかわらず担保を求めない理由

カ 今後とも必要に応じて税関職員の増員に努めることの確認